



令和6年度入学式 校長式辞

122名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。年々開花の早まる桜は、じっと今日の日を待っていたかのように満開となり、皆さんのご入学を歓迎しているのかのようです。

そして今日は雨。四月の雨です。西洋には、「四月の雨が、五月の花を連れてくる」という言葉があります。きっと、これからの皆さんの中学校生活にも、色とりどりの花が咲くように、たくさんのステキな出来事が、彩を添えてくれることと思います。

今日は皆さんに、先月卒業した、皆さんの素晴らしい先輩たちの言葉を紹介します。先輩たちは言いました。

「他者との共生、自然との共生が、これからの地球の問題を解決する」と。

地球温暖化や大気汚染、なくならない紛争や戦争。それは遠い国のことではなく、身近にある差別や偏見も含まれます。このように、地球には大急ぎで解決しなければならない問題が、数えきれないほどあります。

皆さんの先輩たちは、それを解決するために何が必要かを、一生懸命考えました。様々な角度から、色々な答えを導き出していましたが、それらに共通するものが、他者との共生と自然との共生です。

他者との共生とは、お互いの違いを認め、相手を尊重しながら、共に生きていくこと。

自然との共生とは、人間が自然に対して謙虚になり、自然と調和しながら、共に生きることです。

しかしそれは、誰かに任せていたら解決できません。もしかしたら、もっと良くない方向に進んでしまうかもしれません。

大切なのは、知恵と知識を使って自分で考え、判断することです。これを「知性」といいます。

皆さんはこの3年間でたくさんのことを学びます。そして、その学んだすべてのことを活かして、自分の頭で考え、判断できる力、「知性」を磨いてください。

自分が幸せであるために、地球上のすべての仲間が幸せであるために、その知性で、地球の問題に立ち向かえる人になってください。

六中は多様性を尊重し、仲間と共に課題を解決できる学校です。是非とも臆せず、様々なことに挑戦してください。そして、安心して失敗してください。

六中は皆さんの失敗を、決して笑ったりしません。

友達が、先輩が、先生たちが、皆さんの挑戦も失敗も、支え、応援します。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日より、第六中学校教職員一同一丸となって、ご家庭と連携しながら、一人一人、大切に育てまいります。どうか、本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本日ご臨席を賜りましたご来賓、並びに保護者の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和6年4月9日

調布市立第六中学校 校長 佐伯 あつ子